

団体名		事業名	交付予定額 (千円)	融資予定額 (千円)	金融機関	地域課題	事業概要	新規性・モデル性・公益性
1	山梨県 小菅村	クラフトビールを軸にした、地域事業者・特産品を結びつけるレストラン・農業体験施設の整備事業	35,000 国費：26,250 地方費：8,750	55,000	山梨中央銀行	・人口減少・少子高齢化により労働力不足が顕著になると同時に、生産性の低さが課題である。 ・2015年道の駅設立後に観光入込客数が増加したが、現在は頭打ちになっており、インバウンド対応も含め新しい施設が望まれている。 ・小菅村で製造したクラフトビールが国内外で高い評価を得ているが、本社・醸造所がある小菅村内にビールが飲める直営店がない。	○道の駅に隣接したレストラン、農業体験、ビール製造体験の複合施設 ・ビールと地域特産品の料理、地元飲食事業者のゲストキッチンが楽しめるレストラン ・大麦やホップなどビール原材料の栽培と収穫、地元農家とつながる農業体験 ・ビール製造体験は令和7年度農水省イノベーション整備事業を活用予定 ○デジタル技術を活用した顧客体験価値向上と省力化 ・デジタル流量計とICタグで、ビールの量り売りができるセルフビールサーバー ・顧客サービス、オペレーション、バックオフィスのクラウドサービス活用とシステム連携 ・カメラや温度計などIoTデバイスで農作物の生育状況をオンライン管理	・地域の特産品と体験が楽しめる施設による、関係人口とインバウンド客の拡大に繋がる。 ・地域の特産品を活用することによる、地域経済と地域農業の活性化に繋がる。 ・デジタル技術を活用した生産性向上モデル構築とノウハウ共有が可能になる。
2	奈良県 大和郡山市	『駅前空き家活用、地域の集い＆憩いの場創設！』事業	13,423 国費：6,711 地方費：6,712	13,423	奈良信用金庫	・歴史ある城下町として栄え、貴重な歴史的資源を有する一方で、中心市街地はシャッター通り化が進み、衰退の一途を辿っている。 ・今後も人口減少が続くことが予想され、高齢化の加速、若い世代の人口流出、空き家の増加といった課題に直面している。 ・歴史的資源を活かした観光振興が不十分であり、駅周辺には気軽に立ち寄れる休憩スペースや飲食店が不足し、地域住民や観光客の利便性が十分に確保されていない状況にある。	・築80年以上の歴史ある古民家を、地域住民や観光客が安心して集える温かみのあるモダンなコミュニティカフェスペースへと再生する。 ・自動販売機を設置することで、24時間いつでも特産品のスイーツを味わったり、お土産として持ち帰ることも可能に！ ・子育て、介護に悩む人が気軽に相談できる相談窓口を併設し、子育てや介護相談などの悩みに気軽に相談できる環境を整える。	・吉野杉など地域資源を活用し、地元の工務店に改修工事依頼することで、地域経済への貢献と雇用を創出する。 ・交流人口の増加が商店街の経済好循環を促進し、特産品を使ったスイーツやお土産の販売を通じて、地域経済に波及効果をもたらす。 ・誰もが安心して暮らせるまちづくりを実現し、人口減少の抑制に繋がる。
3	奈良県 大和郡山市	空き地（調整区域）を活用した市民の誇れる新しい観光スポット事業	9,590 国費：4,795 地方費：4,795	9,590	奈良信用金庫	・大和郡山市は古くから城下町として栄え、歴史的資源を有する観光地であるが、観光客数は減少傾向にある。 ・人口は減少傾向に転じており、高齢化の加速、若い世代の転出超過傾向、中心市街地等での空き店舗・空き家の発生、農業・工業等、市内各種産業での労働力不足などといった課題がある。 ・「大和郡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、地域課題の解決策として当市の魅力を磨くこと、当市の魅力を効果的に発信すること、当市に関わりたいたいと思っ人々と資源をつなげることが重要とされている。	・数年空き地となっている土地を利用し、観光客、地域住民が交流し、訪れたい、住みたいを創出し、大和郡山市の新しい観光スポットを整備することで観光地としての賑わいを取り戻す。 ・大和郡山市特産物の販売や特産物を使用した飲食物の提供により、地域の魅力を発信し、地域に活力と賑わいを創出する。 ・市内、県内のスポーツ、音楽団体、学校、地域自治体など各種団体による行事・イベントでの利用や祭りフェス、イベントとして利用することで楽しむ場・交流の場を設ける。	・新たな観光拠点として地域住民、近隣住民、観光客の交流の場を設けることで賑わいが創出される。 ・集客拠点として観光客を誘致し、当市魅力に触れ、商店街との相乗効果、地域活性化に繋がる。 ・地域、各種団体のイベント、フェス開催により観光消費額が増加し、大和郡山市全体に経済効果が期待できる。
4	香川県 小豆島町	「移住者支援複合施設「島の暮らし×しごと×交流」プロジェクト	13,749 国費：9,166 地方費：4,583	13,750	香川銀行	・小豆島町は深刻な人口減少及び高齢化に直面しており、地域活力が失われつつある。 ・代表者自身が移住者であり、小豆島には移住促進による地域再生の可能性があるとの認識あるものの、「住」「職」「コミュニティ」といった面でのハードルがある。 ・観光客が食べる場所や泊まる場所がないという自治体を含めた島内の共通課題となっている。	・既存焼き肉店の2階にシェアハウスを開設し、希望者には自社や地域での就労支援を提供。屋上にはイベントスペースを設け、各種イベント企画による移住者コミュニティの形成を促進。隣接地にコテージやテント泊施設を整備し、多様な滞在ニーズに対応。食・住・職・交流をワンストップで提供し、島の活性化及び移住者の定着を図る。 ①シェアハウス事業・・・住居問題の解消。当社飲食店や地域の連携先企業での雇用で就業支援を行う。 ②イベントスペース事業・・・移住者や地域住民の交流促進、新たなコミュニティ形成と地域経済活性化を図る。 ③コテージ・テント泊事業・・・観光客と地域との交流も促し、将来的な移住候補者の発掘。	・移住の促進・・・移住初期のハードルとなる「住」「職」の確保や「コミュニティ」の形成に寄与することで移住を促進する可能性を持つ。 ・地元企業の人材確保・・・移住者を従業員として雇用することで、県外から働き手を確保でき事業継続を支援することができる。 ・観光産業の活性化・・・島内観光業の課題であった宿泊、食事を提供することができ、滞在時間の延長につなげることが可能となる。
5	香川県 小豆島町	小豆島坂手港再興に向けた宇宙船ホテルプロジェクト	22,000 国費：14,666 地方費：7,334	22,000	中国銀行	・コロナ禍以降、マリナクティビティが楽しめる環境にありながら活気が失われているビーチとその近隣の遊休地が数多く存在している。 ・2025年春に坂手ポートターミナル「さかてらす」完成予定。来訪者の増加が見込まれる中で宿泊の受入体制が不足している。 ・近年ではペット同伴の旅行者希望者が多数いるものの、ペットと宿泊できる施設は少ない。	・コンテナホテルの運営・・・建設工事がなく、低コストで移設可能な「宇宙船型コンテナホテル」を遊休地に設置。オプションツアーとしてマリナクティビティや周辺の事業者と連携した観光施設巡りも実施。 ・地域食材の提供・・・泊食分離により地元飲食店等と連携して、地元食材を活かした食事の提供や地元クラフトビールなどをコンテナホテル内に置いて販売するなど、様々な形で地元食材を味わっていただけるようにする。	・宿泊施設を設置することで坂手港を中心とした周辺施設の利用促進に繋がる。 ・現在は利用されていない遊休地やビーチを有効活用することで小豆島の魅力を伝え、観光地としての価値向上に繋がる。 ・地域の人材雇用に繋がる。
6	愛媛県 松山市	都市型ワイナリーを活用した松山中央商店街活性化事業	50,000 国費：25,000 地方費：25,000	106,000	香川銀行	・松山市には、松山城や道後温泉などの観光資源があり、観光地としての人気は高いものの、中心部の松山中央商店街は空き店舗率が2割を超えて高止まりし、人流もコロナ禍以前に戻っていない。 ・農業従事者の高齢化、後継者不足等が急速に進行し、農業の担い手不足の深刻化やそれに伴う遊休農地の増加も課題となっている。	・松山中央商店街にある大街道商店街に都市型ワイナリーを整備し、松山市民のみならず広く県外にもアピール出来るワインを醸造 ・ワインの醸造販売や醸造工程・自社栽培の屋上ブドウ畑・海中熟成ワインの見学など新しい楽しみ方を商店街等で提供 ・松山市のブランド力を高め、住民や観光客向けの新たな集客拠点となり、商店街への誘客及び消費拡大につなげる。	・ワイナリーを核とした取り組みにより商店街への誘客及び消費拡大を図り、松山中央商店街を活性化させることができる。 ・地域農業活性化や耕作放棄地の解消に繋がる。 ・新規事業の創出により、新たな雇用の創出及び地域経済の活性化に繋がる。

143,762

219,763